

トピックス

TOPICS

キャリアママインターンシップ

「育児と仕事の両立」を先取り体験

学生の中には共働きをしながら子育てをする家庭が身近にないなど、出産後も働き続けるイメージが持てず、育児と仕事の両立に不安や負担感を持つ人も多い。

昭和女子大学現代ビジネス研究所では2016（平成28）年12月にキャリア支援の一環として「キャリアママインターンシップ制度」の試行を開始した。大学キャンパス内にある附属小学校のアフタースクール（放課後児童クラブ）に、保護者に代わって学生が迎えに行き、保護者の帰宅まで児童と一緒に自宅で留守番する有償のインターンシップで、大学の教職員が学生の事前学習や研修、利用家庭とのマッチング、事後の振り返りまでをサポートしている。

参加学生は保護者の仕事と子育ての両立の

工夫や、共働き夫婦の家事・育児の分担術について現場で直接学ぶことができる。

参加学生からは、インターンシップを通して子育てを疑似体験し、子育て家庭と間近で触れ合うことによって、仕事と子育ての両立への漠然とした不安や抵抗感を払しょくすることができたなど、前向きな声が聞かれた。大学側からは、日頃は一つの課題に集中し追求することで学びを深めている学生が、インターンシップでは「子供のケア」「自分の学び」「業務遂行と報告」を同時進行させる必要があるため、「複線的思考」「段取り力」「効率的な行動」ができるようになったと評価する声もあった。

2017（平成29）年4月からは、インターンシッププログラムとして本格的に実施している。



本制度の趣旨に賛同する保護者と大学が契約し、1人の児童に対して学生2～3名でチームを作り、交代でサービスを提供する。